

学力向上フロンティアスクール中間報告書

都道府県名	島根県
-------	-----

・学校の概要

桜江町立桜江小学校

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	15
児童数	32	23	33	31	24	41	1	185	

・実践研究の概要

1, 主題

確かな学力を持ち、生き生きと学ぶ子どもの育成
 ~一人一人を生かした授業づくりを通して~

2, 内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年算数(子どもの理解度に差がしやすい教科であり、一昨年度より
 少人数授業によるきめ細かな指導に取り組んでいるため)

(2) 年次計画

平成
14
年
度

テーマ

確かな学力を持ち、生き生きと学ぶ子どもの育成

仮説

一人一人を大切に、個に応じた指導方法や指導過程を工夫していけば、生き生きと学習に取り組み、確かな学力を身に付けることができるであろう。

研究内容・方法

- 1, 研究体制の確立と児童の実態把握
- 2, 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善
 - ・ 月一回の全校書き取り会、全校計算会の実施。
 - ・ 問題解決的な学習や習熟を図る学習などを位置づけた年間指導計画の作成。
 - ・ 児童が考えた解決方法別に分かれた少人数授業の実施。
- 3, 児童の学力の評価を生かした指導の改善
 - ・ 授業に生かせる(補助簿につながる)単元別評価規準の作成。
 - ・ 評価を生かした授業や単元づくり。
- 4, 実践研究の評価方法の検討
- 5, その他の取り組み
 - ・ 読む力、聞く力、豊かな心を育てる読書の時間の充実。
 (地域ボランティア、スクールアシスタントによる読み聞かせ)
 - ・ 全児童を対象としたアンケート実施。

平成
15
年度

テーマと仮説 (14年度と同じ)
 研究内容・方法
 ・1年次の反省より計画の修正・2年次の研究計画立案
 ・昨年度の実践を継続しながら 方法別の少人数授業と 評価を生かした授業についての実践研究を深める
 ・児童の実態調査(1年次との比較)
 ・授業研究の公開(地域の学校を中心として)

平成
16
年度

テーマと仮説 (14年度と同じ)
 研究内容・方法
 ・2年次の反省より計画の修正
 ・3年次の研究計画立案
 ・重点教科以外の指導計画・方法の見直し
 ・児童の実態調査(1,2年次との比較) 実践研究の成果のまとめ
 ・「確かな学力」向上のための教育の確立

(3) 研究体制

- ・研究推進委員会
 校長・教頭・教務主任・研究主任・各部長(高学年部・低学年部・評価部)

・平成15年度の研究成果及び課題

評価を生かした、方法別少人数授業の取り組み

<方法別での少人数授業の取り組み>

- ・子どもが考えた方法を追究させることで、問題に向かう意欲が高まってきた。
- ・自分で選んだ方法で解決させることで、発言や表現の場が増えた。
- ・分かれた時間の中で一人一人の考えを十分に深めていくことができた。

<少人数授業から再度一斉授業にもどすことで>

- ・違った方法の考え方のよさを知り、さらに理解力を深めていくことができた。
- ・友達の説明を聞きながら、新たな疑問や課題を持つ場面が見られた。

少人数授業に関するアンケート結果 (数字は%・5, 6年生は平成15年度より少人数授業実施)

授業がわかる (平成14年度)				(平成15年度)		
	1学期末	2学期末	3学期末		1学期末	2学期末
1年	84	91.7	91.7	1年	87.5	93.1
2年	91	94	94	2年	78.3	79.2
3年	93	90.6	90.6	3年	93.5	93.5
4年	83	56.5	56.5	4年	83.9	77.4
5年				5年	79.2	87.5
6年				6年	82.5	92.7
全体	87.75	83.2	83.2	全体	84.5	87.2

児童の意見の中から
少人数に分かれて勉強することについて

やりやすい・手を挙げやすい
落ち着いて勉強できる

昨年度より多くなった意見

最後に別々の意見を言うのがいい
自分のレベルに合わせた場所に移動でき
る

新しい意見

2. 今後の課題

- ・評価を指導に生かすための、効果的な授業形態や単元構成、教材開発のあり方を探っていく。
- ・二人の教師に頼るのではなく、自分で問題を解決していける思考力を育てていけるように授業を工夫していく。
- ・二人の教師で授業を行う場合、二人の打ち合わせ時間を確保する。
- ・授業外での時間の個別指導にも二人でかかわっているよさを生かしていく。
- ・年間指導計画の中に少人数授業の形態や習熟・問題解決の時間を効果的に位置づける。

・学力等把握のための学校としての取り組み

学力調査（年1回2月実施）の実施～全学年対象、算数科

・フロンティアスクールとしての研究成果の普及について

開催実績

- ・町教職員研修大会兼学力向上フロンティア事業授業公開を実施（平成15年10月16日13:30～「少人数指導を生かした学力向上のあり方」郡内各小・中学校及び本校保護者へ呼びかけ）

開催予定

- ・学力向上フロンティア事業授業公開予定～平成16年10月中旬・邑智郡内、江津市内及び本校保護者へ呼びかけ

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T、Tによる指導
 一部教科担任制 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図が工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無